

薔薇につつまれたロマンの邸宅-4



ダイニングパールームに入ってすぐ目に付くのが、ワインボトルに飾られたガーデンローズ（ビバーナム）私のもっとも大好きなお花だけに感動でした。ゴシック調のスタンド柱に乗せたのも、にくい演出です。アンバランスさがよいのです。



実はダイニングバーから外を眺めると、見覚えのある樽が登場。ここでは、扉の大きさ、形、取っ手、重厚さに注目です。この日のように日差しが強い日は特にシルエットがきれいに写ります。外のグリーンがキラキラしてきれい。入口にあるランプは玄関を照らします。



ここでは3階から四階に上る階段スペース。ポストカードを貼って演出。装飾と実用性を兼ねています。それと左端の小さな鏡に注目です。反対側の窓の光が見えています。光を取り入れる効果的な方法を常に考えています。



ダイニングバーは2フロア仕立てです。下のフロアから中二階のフロアが見えています。ここでは赤い光とダークなダイニングファニチャーを合わせて、男性っぽさを演出しています。ムーディーで落ち着きますね



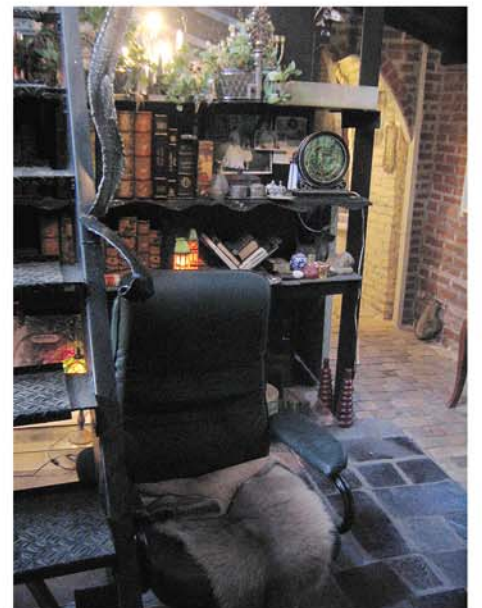
この場面では、やはり黒の革張りソファでしょう。レトロタイプです。どこまでもテイストのあるアーティストですね。



この屋敷のダイニングバーです。数十人のパーティーが可能で、大きな二つの窓からガーデンテーブルとチェアがみえています。ガーデンと一体化した雰囲気になります。ここでも光の演出が素晴らしいです。



ダイニングの中二階よりさらに上の階に行く階段。随所に飽きさせない、さり気ない演出が見えます。



ここでは「男」の書斎でしょうか。棚の小物が絵になります。そして必ず「プラント」と「光」を演出。見逃しませんでした。